



株式会社あいおいニッセイ同和自動車研究所 SDGs宣言

地方創生・地域密着

2023年3月
～ 企業理念 ～

株式会社あいおいニッセイ同和自動車研究所は、「共感・共創・共生」の精神を事業活動の原点におき、「リスクと安心を担う総合サービス企業」として、社会の安定と経済の発展、豊かな生活の実現に貢献する企業をめざします。

具体的な取組みの柱

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



カーボンニュートラルを積極推進します

- ☞ 車両整備・修理技術の研究を継続する事で廃部品の軽減を目指します
- ☞ 紙使用削減と節電を行います
- ☞ FSC認証マーク商品を積極的に使用します
- ☞ CO2排出削減自動販売機への切り替えを行います

13 気候変動に
具体的な対策を



8 働きがいも
経済成長も



地域経済の持続的な成長への貢献を行い ディーセントワークを推進します

- ☞ 裾野市・さいたま市との連携を密にすることで地域課題解決に貢献します
- ☞ あいおいニッセイ同和自動車研究所の成長と発展の為にES (Employee Satisfaction) の向上に努めます

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



4 質の高い教育を
みんなに



地域貢献活動・持続可能なまちづくり

- ☞ 多文化共生社会構築への貢献
- ☞ ゆにぞんスマイルクラブ、チャリティー自動販売機を導入するなど寄付活動に取り組みます
- ☞ 自動車業界の発展の為に教育・研修の場をつくります
- ☞ 災害時には避難所として施設を開放するとともに、備蓄物資を提供します
- ☞ 交通事故低減、修理費低減、安全な車づくりの為に研究を継続します

11 住み続けられる
まちづくりを



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



カーボンニュートラル を積極推進します

☞最先端の車両整備・修理技術を研究・普及させる 事で廃部品の軽減を目指します

- ・整備研修、板金・塗装研修、見積研修、
ディテリング研修(中古車商品化)を充実させます

☞ 紙使用削減と節電を行います

- ・2023年度目標 紙使用量 2022年度比▲10%
電力使用量2022年度比▲3.5%
(AD目標に同じ)

☞ FSC認証マーク商品を積極的に使用します

- ・紙を使わずPCを駆使して社内情宣を行います

☞ CO2排出削減自動販売機への切り替えを行います

- ・2030年までに全ての自動販売機の切り替えを
目指します



地域経済の持続的な成長への貢献を行い ディーセントワークを推進します

☞ 裾野市・さいたま市との連携を密にし 地域課題解決に貢献します

- ・ DX推進：交通安全EBPM支援サービスを実施します
- ・ シニアカーの普及活動を行います
- ・ 岩波駅周辺地区まちづくり基本計画に沿った小型モビリティの普及支援を行います

☞ 会社の成長と発展の為に ES (Employee Satisfaction)の向上に努めます

- ・ 社員の声BOXを設置し、社員が会社の改善の為に意見を出しやすい環境づくりを行います
- ・ 社員の在宅勤務の環境を確立しつつ通勤時間を減らす事による効率の良い働き方改革を目指します

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



地域貢献活動・ 持続可能なまちづくり

☞ 多文化共生社会構築への貢献

- ・ 外国人技能実習生への研修、教育を積極的に行います

☞ ゆにぞんスマイルクラブ等、寄付活動に取り組みます

- ・ ゆにぞんスマイルクラブを推進します
- ・ チャリティー自動販売機への切り替えを行います

☞ 子ども達が整備士の仕事に興味を持つような研修の開発

- ・ 裾野市、さいたま市教育委員会との打ち合わせを行い
スキームづくりを行います

☞ 災害時には避難所として施設を開放するとともに、 備蓄物資を提供します

- ・ 裾野市役所、さいたま市役所との打ち合わせを行い
スキームづくりを行います

☞ 交通事故撲滅や修理費抑制に向けて、安全な車作りに 関する研究に取り組みます

- ・ 衝突実験や事故データの分析を通じて、
先進安全技術や「壊れにくく修理しやすいクルマ作り」
に関する研究を行います